

2011年3月期  
決算説明会

株式会社ツムラ  
代表取締役社長  
芳井 順一

2011年5月13日

# 本日の内容

- ◆2011年3月期 決算の概況(含む震災による影響)
- ◆2012年3月期 業績予想(含む震災による影響)
- ◆活動目標の進捗状況

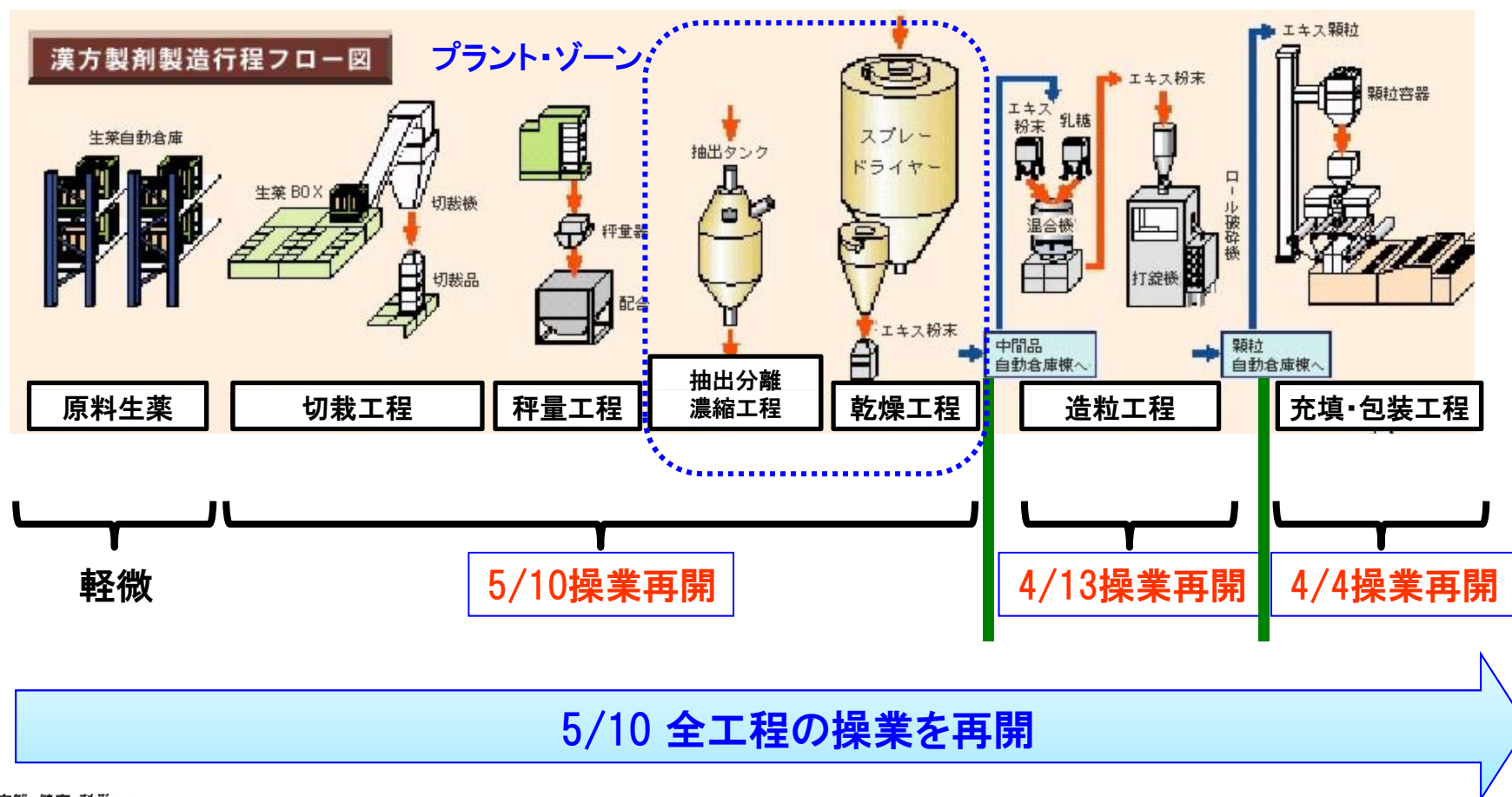
# 東日本大震災による影響-1

## 【茨城工場】

3月11日 操業停止

(茨城県稲敷郡阿見町吉原3586)

- ・各工程ごとに段階的に稼働
- ・5月10日 全面的に操業を再開



# 東日本大震災による影響-2

## 茨城工場以外の被災・復旧状況

施設	影響
<b>石岡センター</b> (茨城県石岡市柏原7-2)	点検などにより、操業を停止。 生薬加工ラインの一部は、3月24日より稼働。 4月11日から全ての機能において操業再開。
<b>研究所</b> (茨城県稲敷郡阿見町吉原3586)	精密機器などの点検を実施。 漢方製剤の品質管理試験を3月22日から再開。順次各種試験を再開し、3月28日から通常どおりの体制になる。
<b>東日本物流センター</b> (埼玉県行田市野1584-8)	大きな被害はなし。計画停電の影響下、時間調整を行い稼働。

# 東日本大震災による影響-3

## ■特別損失<災害による損失>の内訳

【2011年3月期】

設備損失等は保険でカバーされるため、免責分の負担のみ。

茨城工場の設備等損失額の詳細は、現在、試算中であるが、総額でも10億円を下回る見通し。

内容	金額
茨城工場保険免責分	0.5億円
その他設備損失等	1.3億円
操業停止中の固定費	3.5億円
<b>災害による損失</b>	<b>5.3億円</b>

# 電力不足への対応

## 茨城工場における消費電力削減への対応

供給源	製造に必要な電力量
買電	6,200kW
発電機	2,100kW
合計	8,300kW

25%削減  
⇒1,550kWに相当

## 電力不足対策

対策	補充できる容量
節電	620kW
発電機(研究所保有)	400kW
発電機(レンタル)	810kW
合計	1,830kW

計画通りの生産が可能

# 2011年3月期 決算の概要

# 決算の概況(連結)

売上高、利益ともに計画を上回る

(単位:百万円)

	計 画	2011/3	計 画 比		前 期 比	
			金 額	増減率	金 額	伸長率
売上高	93,100	94,778	1,678	1.8%	3,845	4.2%
営業利益	19,600	21,553	1,953	10.0%	2,614	13.8%
経常利益	19,800	21,725	1,925	9.7%	2,653	13.9%
当期純利益	11,500	12,945	1,445	12.6%	2,241	20.9%

	計 画	2011/3	2010/3
営業利益率	21.1%	22.7%	20.8%
ROA (総資産営業利益率)	13.9%	15.6%	14.5%
配当 (1株当たり配当金)	56円	58円	46円

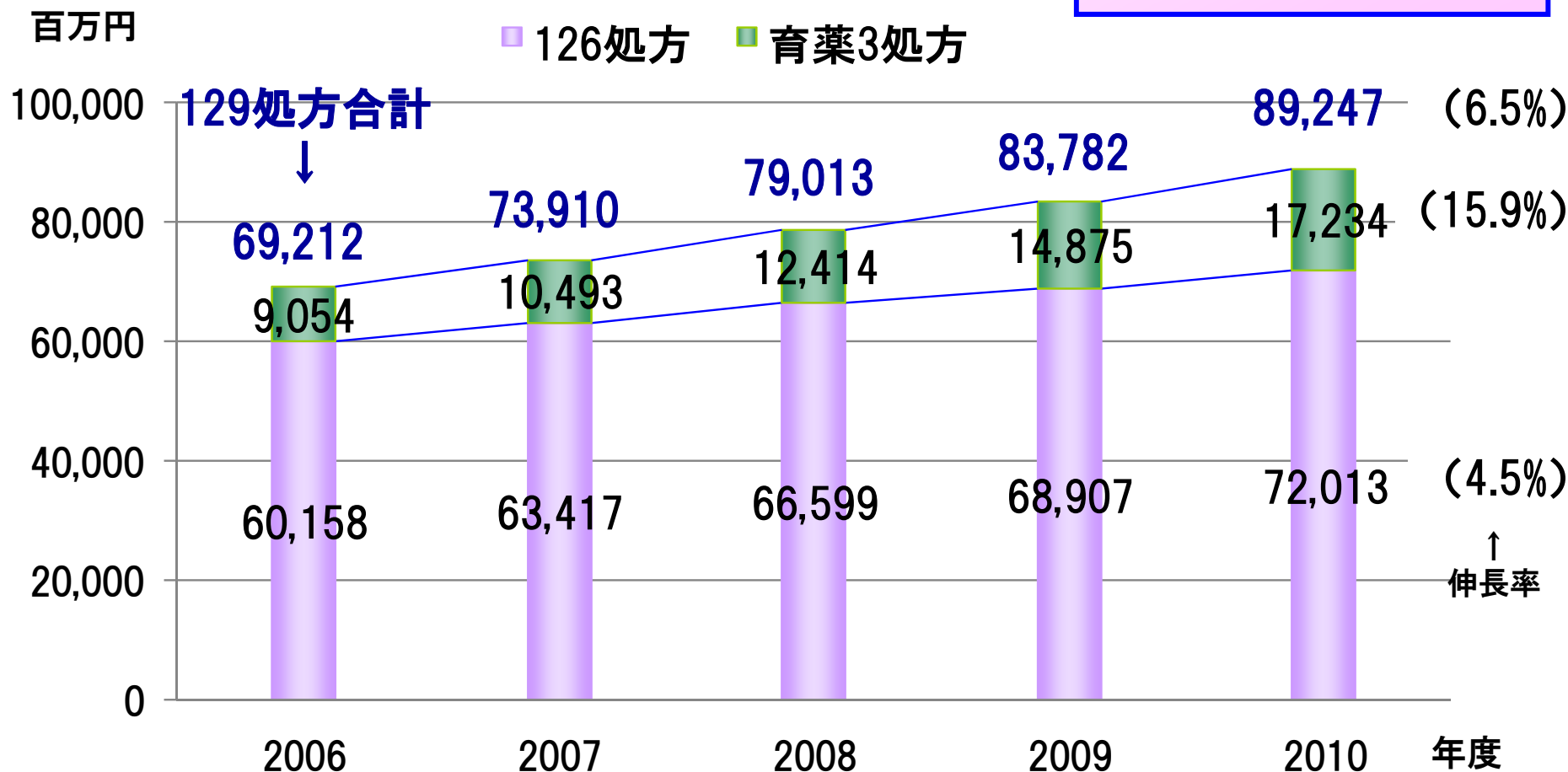
期末配当を28円から  
2円増額し30円。  
年間配当は58円。



# ツムラ医療用漢方製剤 売上高推移(出荷)

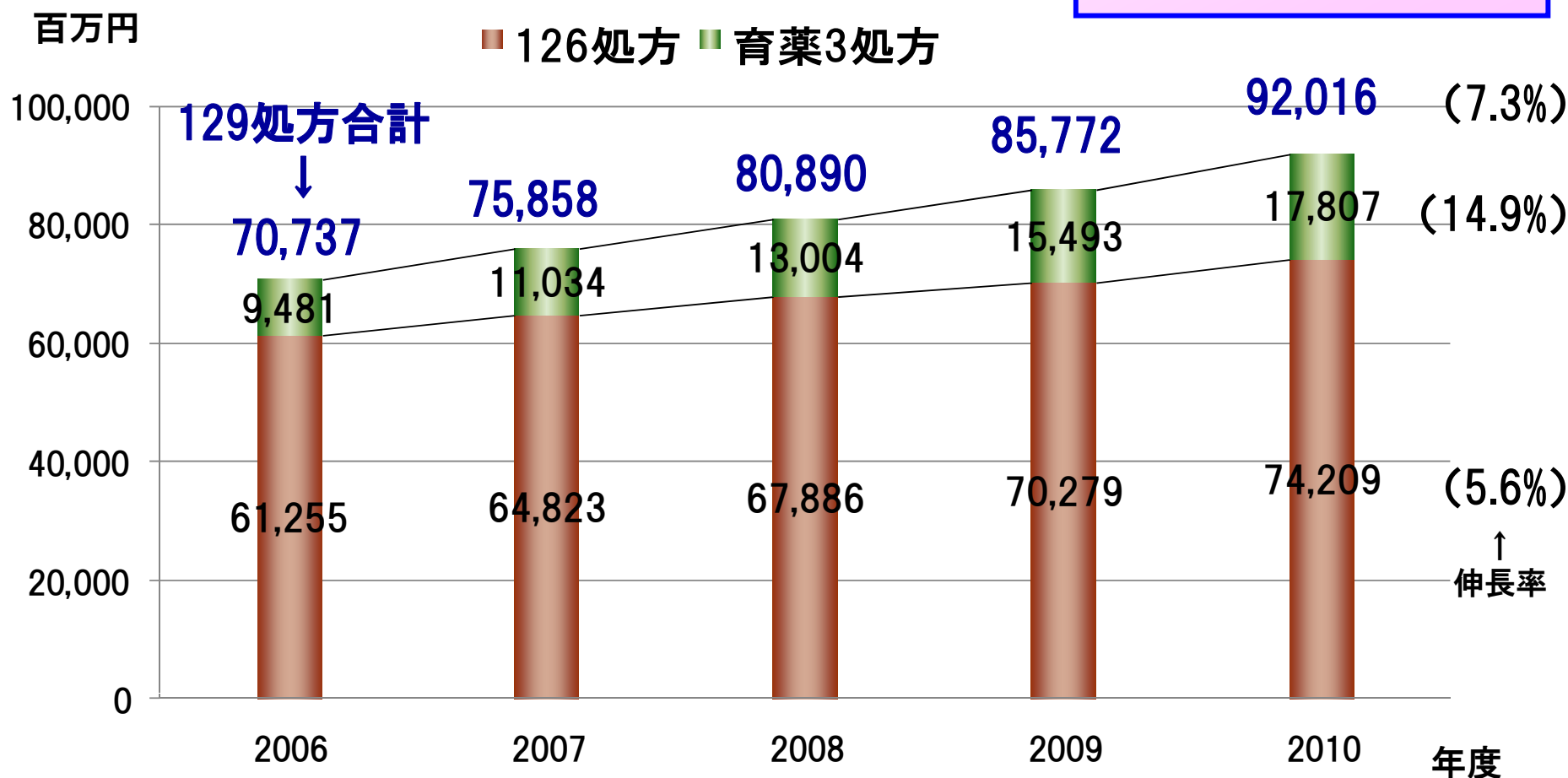
医療用漢方製剤129処方 of 売上高は  
着実に伸長を続ける。

2010年度  
⇒892億円(6.5%増)  
⇒105処方が売上増



# ツムラ医療用漢方製剤 売上高推移(実売)

2010年度  
 ⇒920億円(7.3%増)  
 ⇒111処方が増



# 2012年3月期

## 業績予想

# 2011年度計画-1(売上高の前提)

2011年度の医療用漢方製剤の数量伸長率は、**9.4%**を前提としている。

【実績】2010年度<医療用漢方製剤>伸長率

実数値	実売	出荷
数量	12.4%	10.1%
金額	7.3%	6.5%

**実力値(実売・数量ベース)**

2010年度	上期	下期	通期
実数値	9.7%	14.8%	12.4%
変動要因	リバウンド $\Delta 1.2p$ 季節変動 $+0.7p$	買控 $\Delta 1.3p$ 季節変動 $\Delta 0.8p$ 震災による需要増 $\Delta 3.2p$	リバウンド・買控 $\Delta 1.3p$ 季節変動 $\Delta 0.0p$ 震災による需要増 $\Delta 1.7p$
実力値	9.2%	9.5%	<b>9.4%</b>

# 2011年度計画-2

(単位:百万円)

	当初計画	今期計画	当初計画比		前期比	
			金額	増減率	金額	伸長率
売上高	100,000	100,400	400	0.4%	5,621	5.9%
営業利益	23,400	23,400	0	0	1,846	8.6%
経常利益	23,600	23,600	0	0	1,874	8.6%
当期純利益	13,800	13,600	△200	△1.4%	654	5.1%
研究開発費	4,300	4,600	300	7.0%	476	11.6%
設備投資	11,400	12,300	900	7.9%	7,035	133.7%
営業利益率	23.4%	23.3%	-	-	22.7%	-
ROA (総資産営業利益率)	15.7%	16.1%	-	-	15.6%	-
配当 (1株当たり配当金)	-	60円	-	-	58円	2円増額

# 2011年度計画-3

## 当初計画比

項目	計画比 増減額 (百万円)	内容
売上高	400	医療用漢方製剤の数量伸長率は9.4%
売上原価	200	売上原価率0.1p上昇 (31.4%⇒31.5%) 未実現利益、減価償却費増など
販管費	200	販管費率は同様に45.2%
営業利益	0	営業利益率23.4%⇒23.3%
経常利益	0	-
当期純利益	△200	災害による損失(特別損失)は、4.8億円程度

### 災害による損失の内訳

操業停止中の固定費	2.7億円
自家発電レンタル料	2.1億円

# 設備投資について(計画差異)

差異の理由 生産性の向上を目指した設計見直し⇒着工の期ズレ

	2010年度	2011年度
当初計画(2010年5月時点)	85億円	114億円
実績・見込	実績 52億円	計画 123億円
差異	▲33億円	9億円

## 差異の内訳

	2010年度	2011年度
茨城工場(造粒棟等)	▲9億円	▲2億円
静岡工場(造粒・包装棟等)	0	▲18億円
上海工場	▲8億円	1億円
生薬関連(石岡・深セン)	▲11億円	26億円
その他	▲5億円	2億円
合計	▲33億円	9億円

# 設備投資の内訳

建屋を含めた新規生産設備の増強が必要となる。

生薬の保管能力の増強もあわせて必要になる。



2010年度

億円

内容	金額
茨城工場(SDライン等)	30
静岡工場	3
上海工場	1
生薬関連(石岡・深セン)	6
その他(研究所等)	12
<b>設備投資 合計</b>	<b>52億円</b>

2011年度

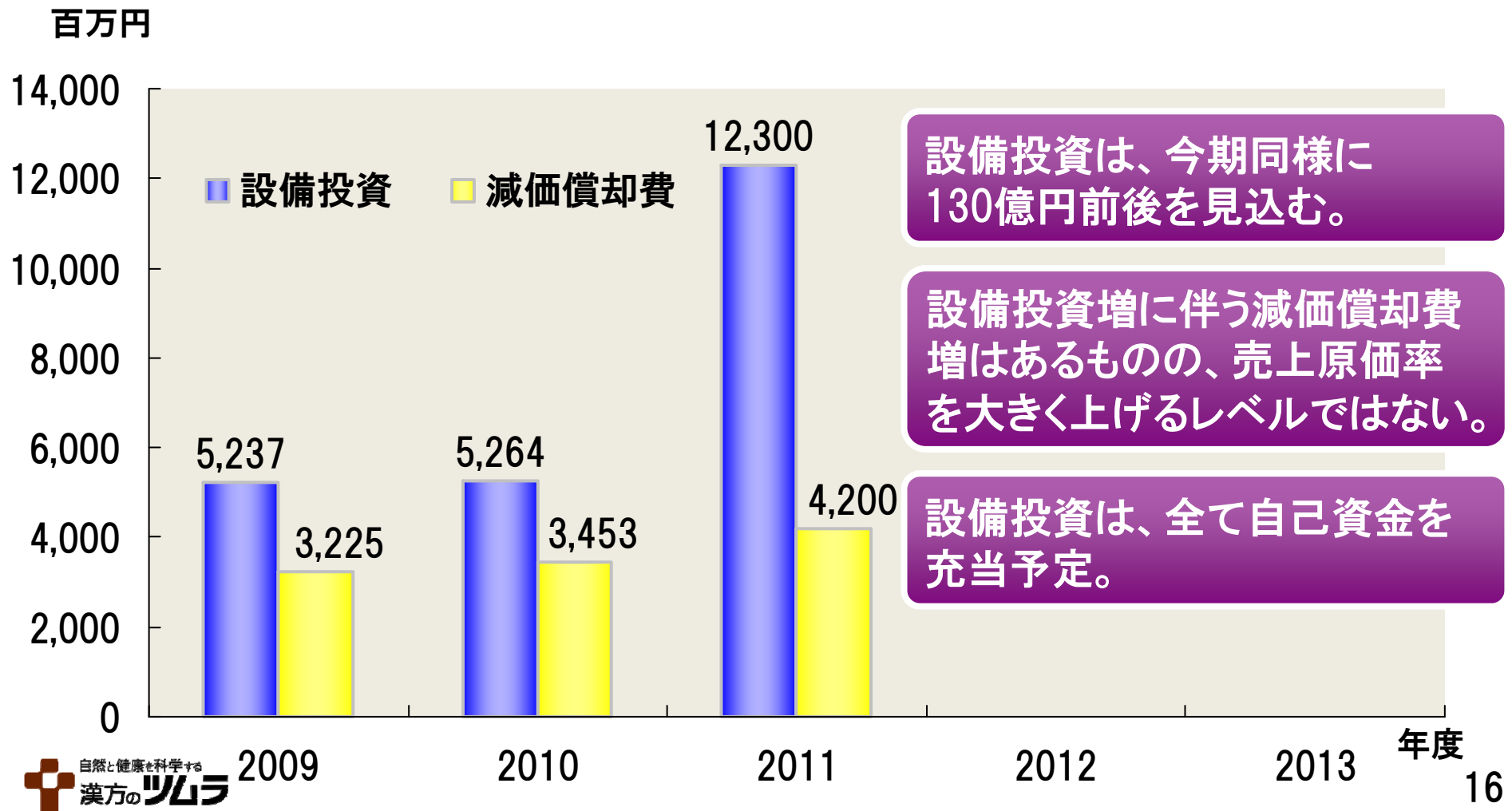
億円

内容	金額
茨城工場(造粒棟、SDライン等)	35
静岡工場(造粒・包装棟、生薬倉庫等)	16
上海工場(SD棟)	22
生薬関連(石岡)	14
生薬関連(深セン)	13
生薬関連(夕張)	7
その他(研究所等)	16
<b>設備投資 合計</b>	<b>123億円</b>



# 来期(2012年度)以降の設備投資・減価償却費の考え方

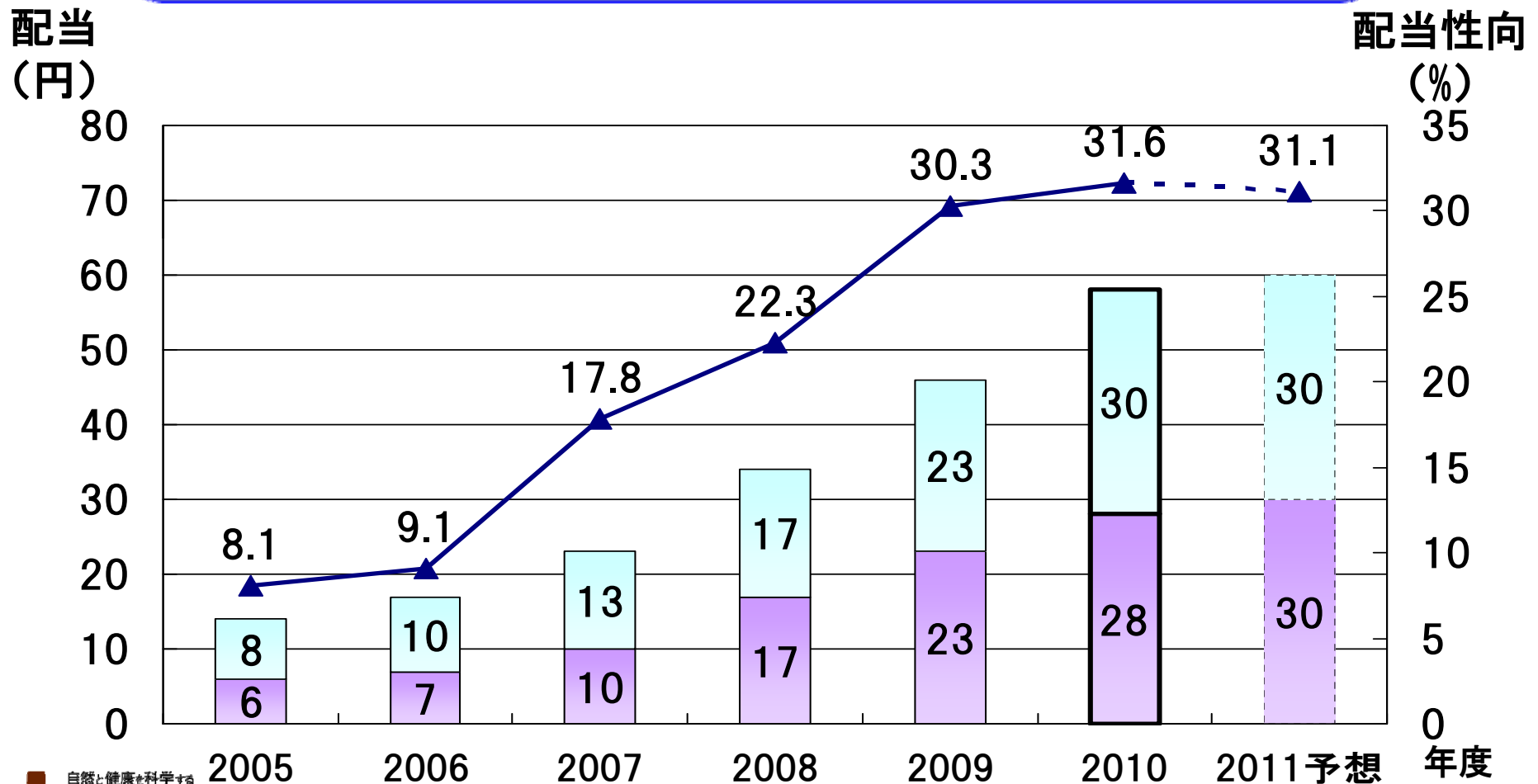
- 医療用漢方製剤は、「成長ステージ」にある。
- 増産に対応するための製造設備、生薬倉庫の増設が必要。



# 配当政策

## 【基本方針】

設備投資や毎期の業績、配当性向等をふまえ  
増配を基調に安定配当を目指す。



# キャッシュフローの使途

## 営業キャッシュフロー

➤ 更なる成長に向けた投資

### ◆設備投資

長期的な需要予測に基づき製造設備、生薬倉庫等を増設。

➤ 有利子負債返済

### ◆返済

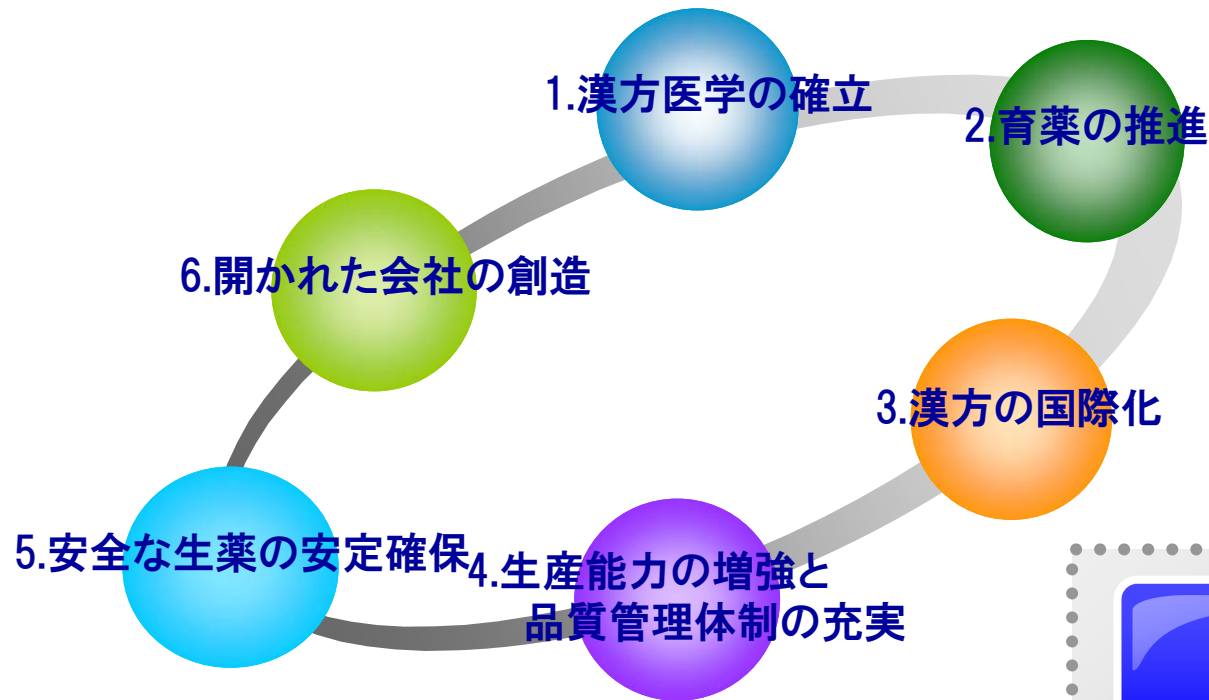
設備投資や配当等を勘案し、適宜、返済について判断する。(2011年度は約20億円の返済を予定。)

➤ 株主還元

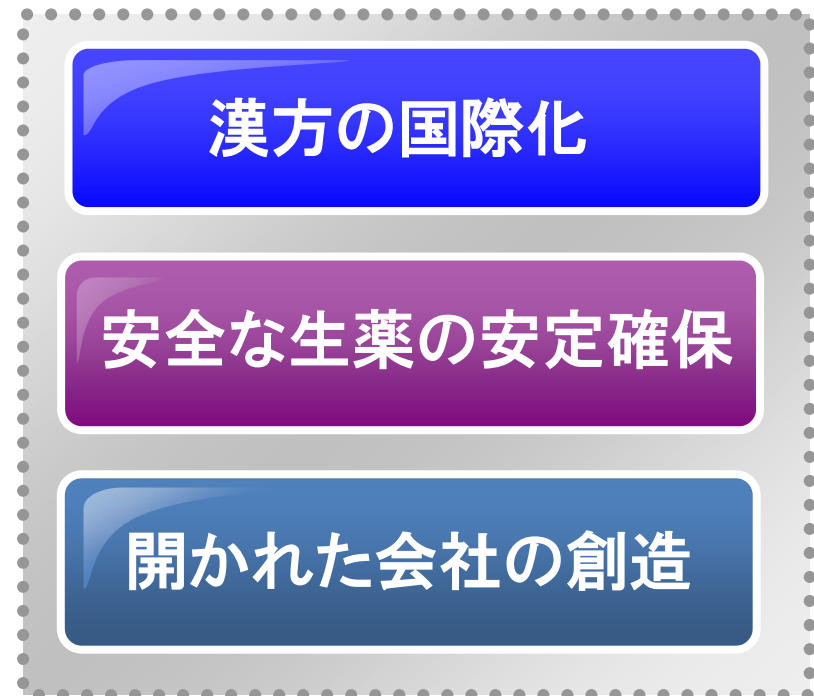
### ◆配当

設備投資や毎期の業績、配当性向等をふまえ、増配を基調に安定配当を目指す。

# 6つの活動目標



6つの活動目標から、  
トピックスとして、3つの  
活動目標について説明



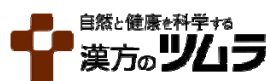
# TU-100 大建中湯の研究開発スケジュール(日米)

年度		2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
日本 (育薬等)	DKTフォーラム 大腸班	実施中:DB-RCT								
	DKTフォーラム 臨床薬理班	実施中:DB-RCT								
	DKTフォーラム 肝外科班		実施中:DB-RCT							
	DKTフォーラム 胃・食道班		実施中:DB-RCT							
	薬物動態試験(STEP I & II)	終了								
	使用成績調査(副作用発現)			実施中						
米国 (開発)	Early Phase II (健常人)	終了								
	Early Phase II (患者)①			実施中						
	Early Phase II (患者)②			実施中*						
	肝酵素誘導試験	終了								
	薬物動態試験 (ADME)			実施中*						
	腸内細菌(基礎)			実施中*						
	Late Phase II				予定					
	Phase III							予定		→ 上市
	Phase III							予定		→ 上市予定

米国における開発疾患  
術後イレウス  
(POI)

※前回の決算説明会(2010年11月)時点で、  
実施準備中または企画中であったもの。  
前倒しで実施。

今後は、適用拡大も視野に入れる。



DB-RCT: Double blind - Randomized Controlled Trial (二重盲検ランダム化比較試験)  
POI: Postoperative ileus

# 甘草の栽培研究



甘草についての課題



野生種に依存

- ・さまざまな規制
- ・資源の枯渇 など

ツムラ医療用漢方製剤の94処方(約7割)に使用



2001年に中国において栽培研究を開始

# 甘草の栽培技術を確立

## 10年にわたる栽培研究の成果

共同研究先	中国医薬保健品股份有限公司 / 北京中医薬大学
期 間	2001～2010年(基礎研究)、2009～2011年(応用研究)
面積 / 収穫	40ha(2009年播種) 40haのうち6haを収穫(生薬収量5.5t)
研究 成 果	1.グリチルリチン酸の高含量に成功 ⇒平均3.5%(最低3.2%、最高4.0%) 2.医薬品の原料としての規格に適合 ⇒日本薬局方の全ての規格に適合 3.栽培期間の短縮 ⇒播種後1年3ヶ月で収穫に成功 4.大規模栽培に成功 ⇒機械化による栽培の効率化
特 許	中国における特許出願⇒中国国内の使用許諾は無償

# ラオスでの生薬栽培(ラオ ツムラ)



ラオスにおける作業風景



ラオスにおける作業風景

商 号	LAO TSUMURA CO., LTD.
設 立 日	2010年2月19日
主 な 事 業 内 容	生薬栽培と生薬調製加工
農 場 面 積	約200ha、将来的には1,000ha規模への拡大を計画

- 「ポーケム ツムラ友好中学校」校舎建設への協力
  - ・建設地:サラワン県ラオンガム郡(生薬栽培地)
  - ・竣工式:2011年3月29日



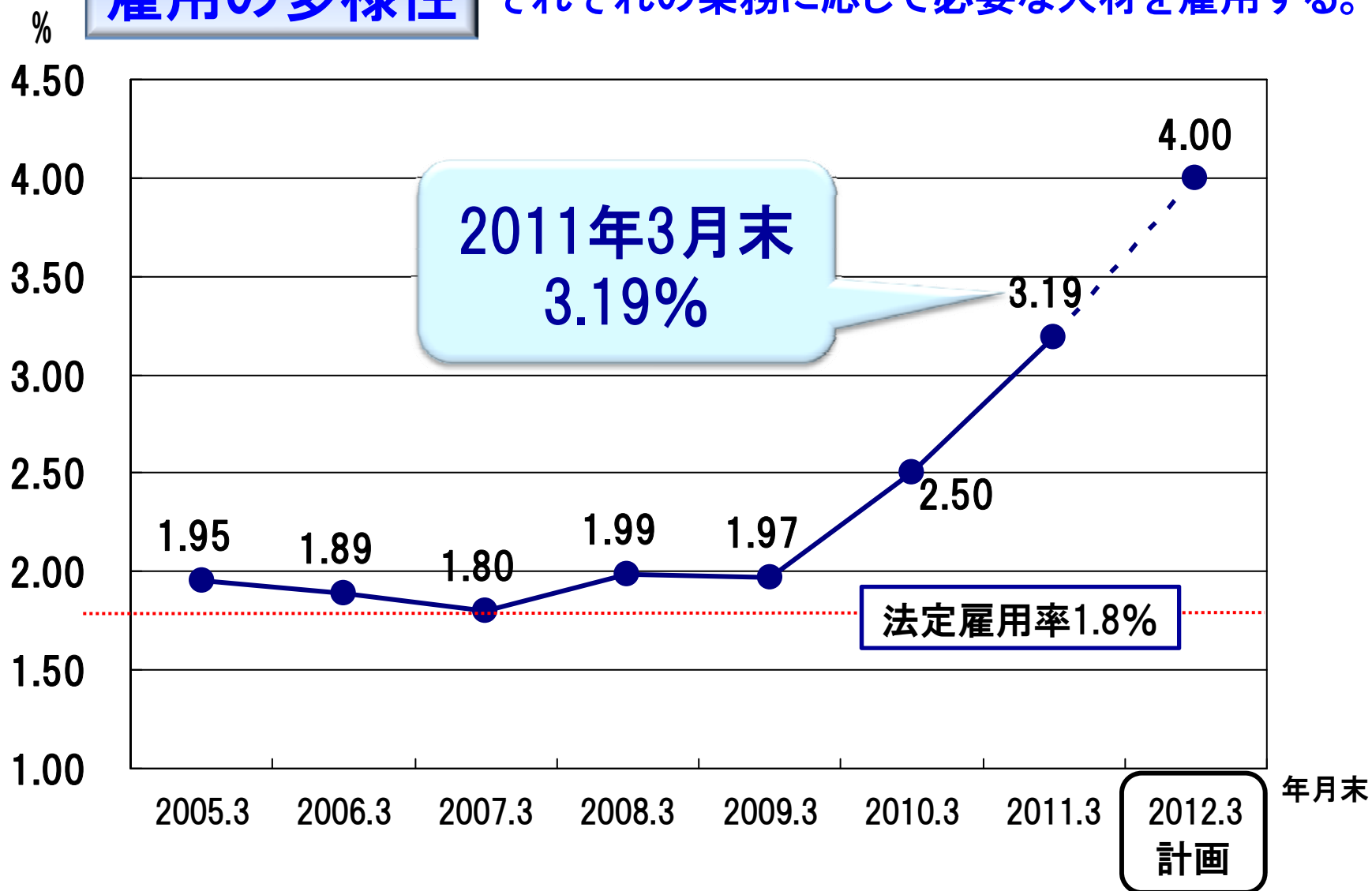
ポーケム ツムラ友好中学校



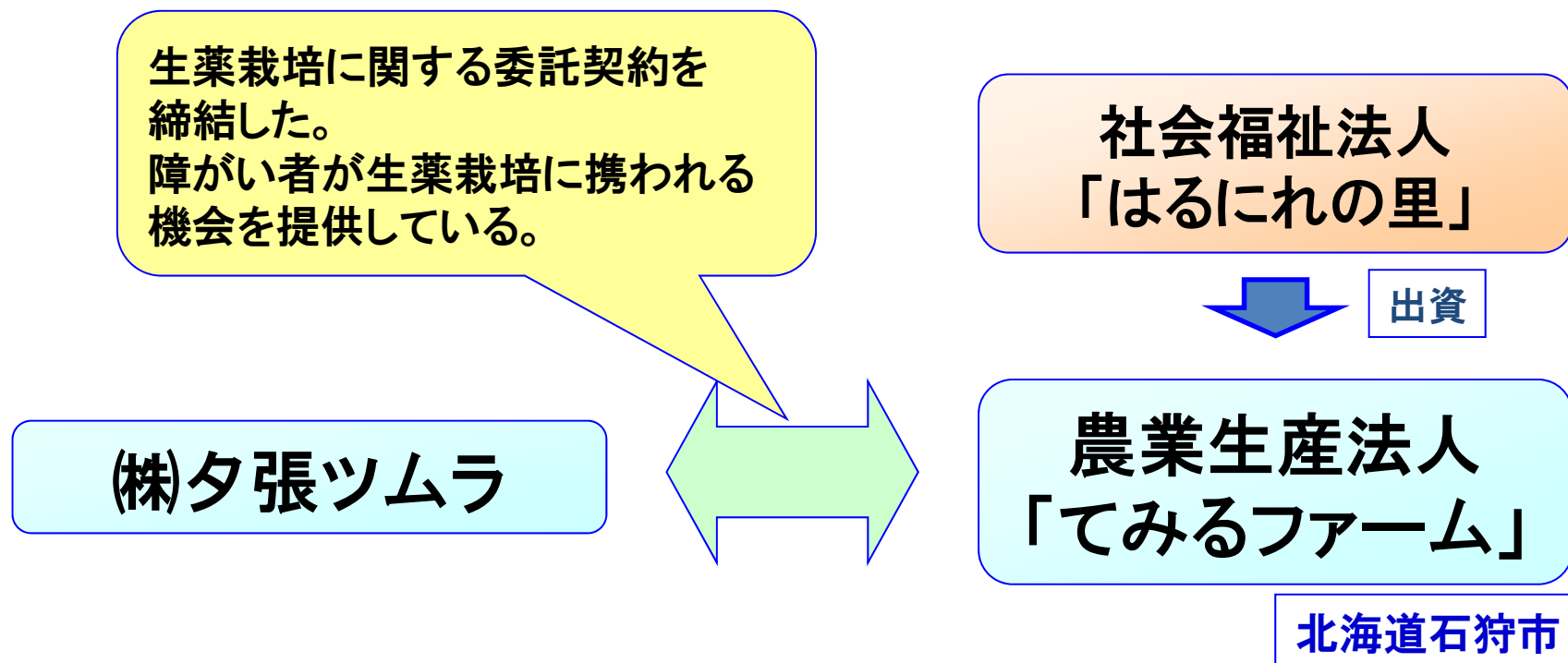
# ツムラの障がい者雇用率(雇用への対応)

## 雇用の多様性

それぞれの業務に応じて必要な人材を雇用する。



# 障がい者の雇用：生薬栽培



事業内容	生薬栽培
従業員	健常者3名、障がい者10名(計画)
生薬栽培の内容	生薬(センキュウ、ソヨウ)の試験栽培

\*てみるファーム

北海道札幌市・石狩市に50ヵ所の事業所・施設をもつ社会福祉法人「はるにれの里」が2010年に知的障がい者の自立を目的として設立した農業生産法人。



漢方医学と西洋医学の融合により  
世界で類のない最高の医療提供に貢献する

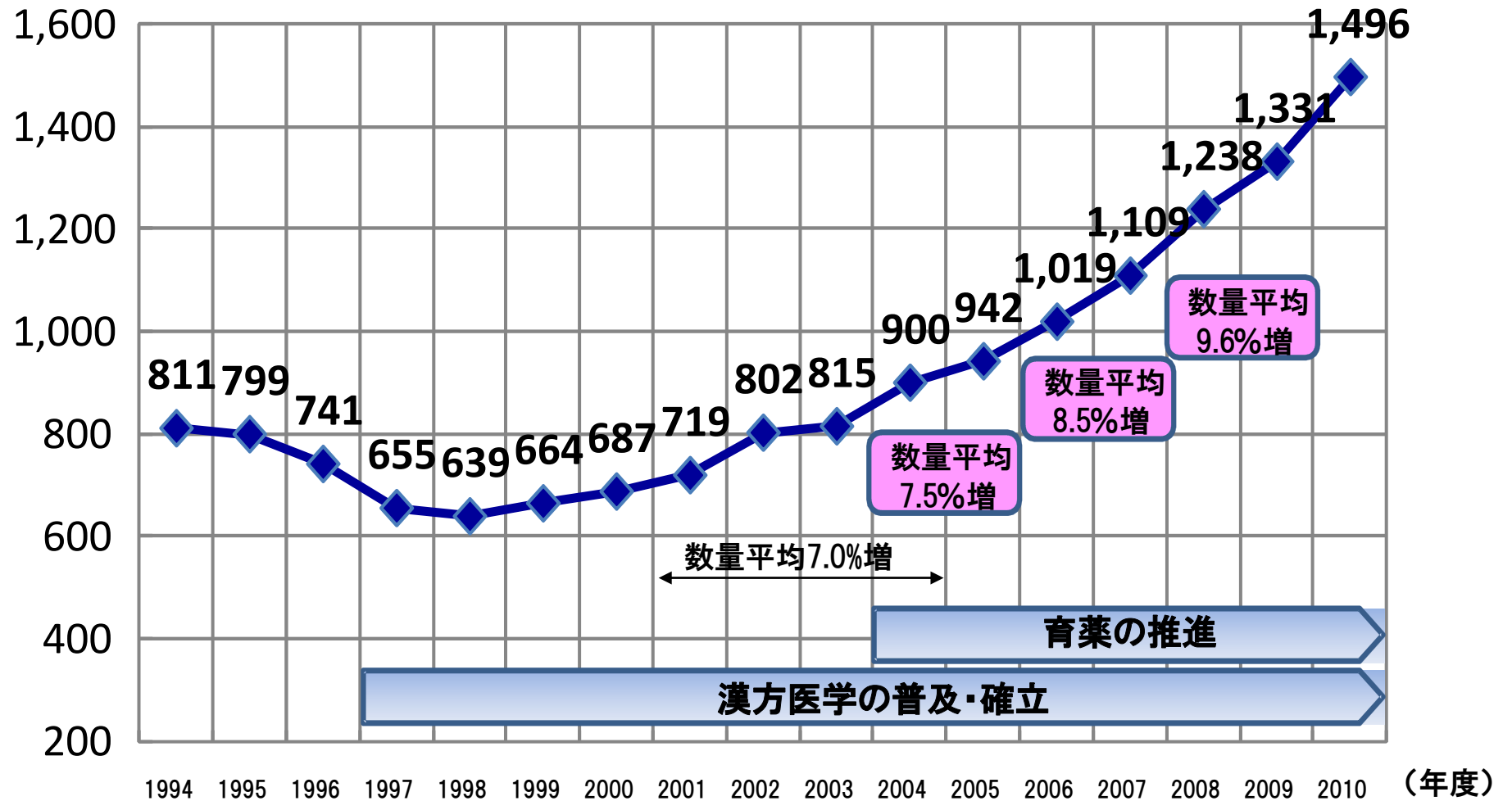


# 参 考

# ツムラ医療用漢方製剤 実績(実売・数量ベース)

数量平均9%台の成長を持続(安定成長)

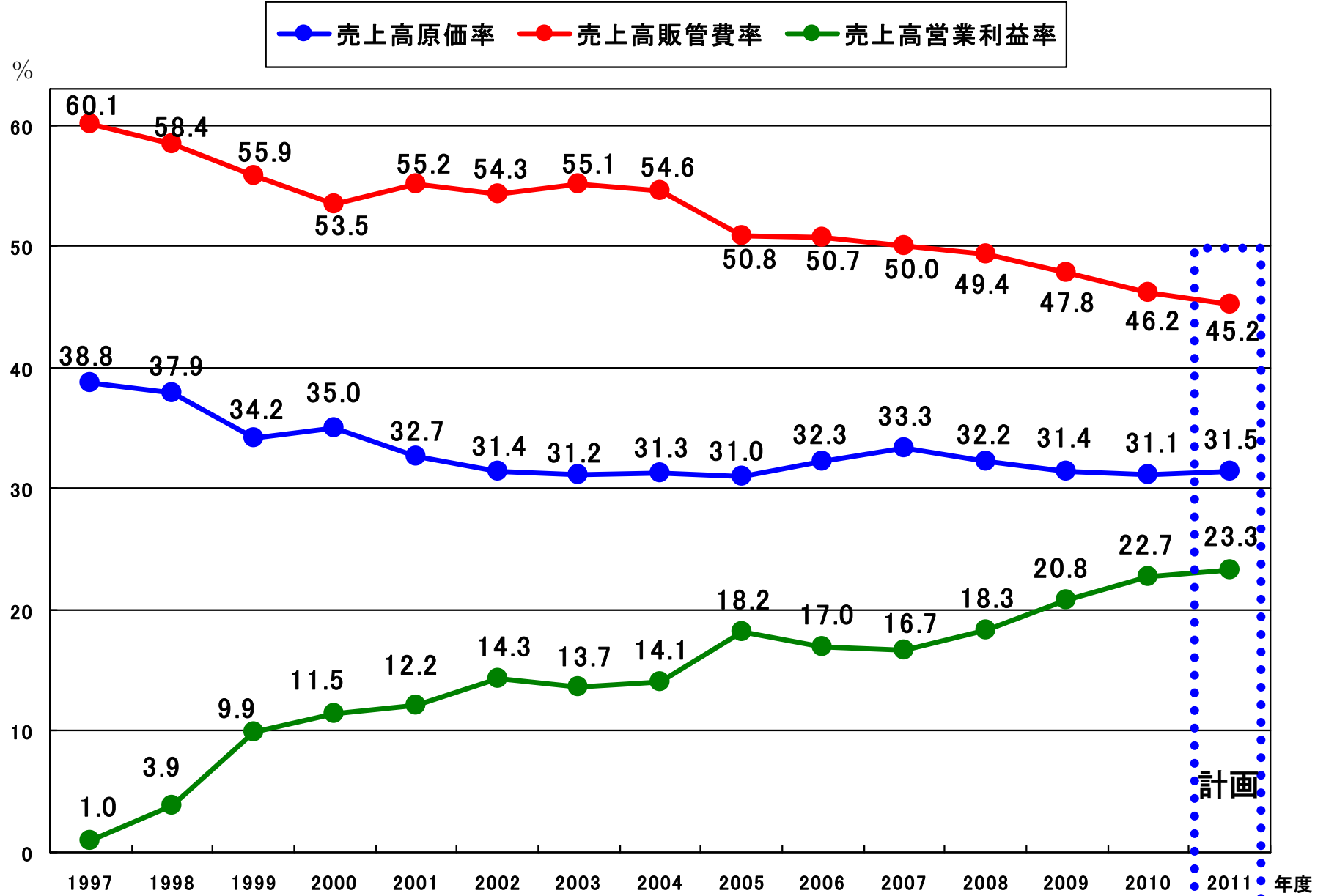
(万本)



# 医療用漢方製剤 売上高トップ10

順位	処方名	売上高 (百万円)	増減率
1	大建中湯(ダイケンチュウトウ)	7,960	7.2%
2	補中益気湯(ホチュウエッキトウ)	6,218	5.4%
3	六君子湯(リックンシトウ)	5,288	20.4%
4	抑肝散(ヨクカンサン)	3,984	30.5%
5	加味逍遙散(カミショウヨウサン)	3,653	4.7%
6	牛車腎気丸(ゴジャジンキカン)	3,531	2.7%
7	麦門冬湯(バクモンドウトウ)	3,510	14.3%
8	柴苓湯(サイレイトウ)	3,336	△0.5%
9	芍薬甘草湯(シャクヤクカンゾウトウ)	3,309	7.5%
10	小青竜湯(ショウセイリュウトウ)	2,757	13.6%
医療漢方製剤129処方合計		89,247	6.5%

# 売上原価率、販管費率、営業利益率の推移【連結】





# 漢方製剤の主な新規生産設備 増設／稼働予定

## 新規生産設備の建設スケジュール

	2009年度	2010年度	2011年度	
茨城 エキス粉末製造工程 (SDラインを含む)	●—————●			2011年度 稼働予定
茨城 造粒工程		●—————		2012年度 稼働予定
静岡 造粒・包装工程			●—————	2014年度 稼働予定
上海 エキス粉末製造工程	●—————			2013年度 稼働予定
生薬保管倉庫など (石岡・深セン、夕張など)		●—————		2011～2013年度 稼働予定

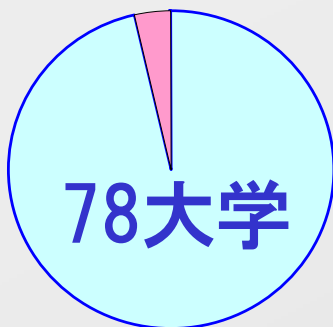
エキス粉末 生産能力/年	2009年度	2011年度	2013年度
	3,300t	+750t(4,050t) 茨城工場	+700t(4,750t) 上海工場

# 漢方医学の確立-1

## 漢方医学教育の進捗

2011年3月末現在

8コマ以上必修化



漢方外来



FD: 大学主催の講師育成制度



# 漢方医学の確立-2

## 10年ぶりにカリキュラムが改訂

### 医学教育モデル・コア・カリキュラム(文部科学省)

(平成19年12月一部改訂)  
2001年3月

- F 診療の基本
- 2 基本的診療知識
- (1)薬物治療の基本原則
- 到達目標:

17) 和漢薬を概説できる

(平成22年度改訂版)  
2011年3月

- F 診療の基本
- 2 基本的診療知識
- (1)薬物治療の基本原則
- 到達目標:

17) 和漢薬(漢方薬)の特徴や  
使用の現状について概説  
できる。



医学教育モデル・コア・カリキュラムー教育内容ガイドラインー平成22年度改訂版より抜粋

# 育薬の推進

2004年度開始以降、着実に進捗



これまでの成果を踏まえDBT  
(二重盲検試験)が全ての育薬  
処方で開始される。

2011年度  
5処方でDBT(二重盲検試験)

2009年度  
2処方を追加(3+2)

2004年度  
育薬を開始(3処方)

「育薬」とは、近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立すること

# 育薬処方(領域)の広がり

2004年度



2009年度

外科  
領域

大建中湯

消化器内科  
領域

六君子湯

+

がん領域

牛車腎気丸  
半夏瀉心湯

大建中湯  
六君子湯  
抑肝散

精神神経  
領域

抑肝散

DBT(二重盲検試験)  
実施の意義

- ・より信頼性の高いエビデンスの集積
- ・大学病院等の施設が中心
- ・一部、科学研究費(厚生労働省)による研究

# 育薬処方でのDBT(二重盲検試験)実施状況

処方No	研究名称等	代表施設名 施設数等	エントリー 症例数	2009年度	2010年度	2011年度				2012年度				2013年度			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
TJ-100 DKT フォーラム	大腸班 (臨床薬理) 目標400例	北里大学 約50施設	317症例 (61症例) 2011/3	2009年1月～2011年6月													
	肝外科班 目標200例	釧路労災病院 約20施設	214症例 2011/3		2010年2月～2012年1月												
	胃食道班 目標240例	大分大学 約30施設	11症例 2011/3			2011年1月～2012年12月											
TJ-43	FD 目標430例	慶応大 大科研費	-			2011年2月～2012年9月											
TJ-54	統合失調症 目標120例	島根大 大科研費	-			2011年3月～2012年2月											
	BPSD 目標140例	東北大 大科研費	-			2011年2月～2013年3月										解析 10月	
TJ-107	GONE 目標80例	旭川医大	-	2009年5月～ 2010年10月													
	GENIUS 目標310例	九州大 大科研費	-			2010年10月～2013年3月											
TJ-14	Hangesya-C 目標90例	大阪医療 センター	-			2010年10月～2012年9月											
	Hangesya-G 目標90例	神奈川県立 がんセンター	-			2010年10月～2012年9月											

# DDWにおける漢方の発表演題

21演題が採択

## 米国消化器病週間(DDW: Digestive Disease Week)

年度	開催地	演題	内 容
2011	シカゴ	21	六君子湯:16演題(基礎16) 大建中湯:5演題(基礎5)
2010	ニューオーリンズ	21	六君子湯:14演題(基礎8・臨床6) 大建中湯:6演題(基礎3・臨床3) 芍薬甘草湯:1演題(臨床1)
2009	シカゴ	13	六君子湯:10演題(基礎7・臨床3) 大建中湯:3演題(基礎3)
2008	サンディエゴ	8	六君子湯:8題(基礎5・臨床3)
2007	ワシントンD.C.	3	六君子湯:2題(基礎2) 大建中湯:1題(基礎1)

※ 2011年度は、上記以外に六君子湯の作用機序解明のための動物モデルに関する研究が、2演題採択されました。



本資料に関するお問い合わせ先

**株式会社ツムラ**  
**コーポレート・コミュニケーション室**  
**IR推進グループ**  
TEL:03-6361-7101

### 注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。将来の予測等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって、実際の業績等は予想値とは異なる結果となる可能性があります。

また、医薬品に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。